

CCC開設1周年を迎えて

センター長 五島幸一

新しい学外教育のプログラムを提供する教育センター、として
CCCが開設して1年。この間の活動をご報告します。



●●●地域活動総合演習

多文化共生について学び、
可児のコミュニティラジオに出演して
インタビューを受ける学生たち



●●●JALでの インターンシップ研修

現場で最高のサービスを学ぶ

●●●地域貢献

堀川環境美化活動PRを
ステージから盛り上げる
(よさこい探求会「鳴踊」)



●●●インターンシップ概論

中小企業社長による講演で、
起業についてうかがう



●●●地域活動総合演習

外国人集住地域の教育委員会を視察し、
地域に暮らす子どもの日本語学習に参加



●●●マナー研修

インターンシップの事前学習として、
名刺交換を実演

●●●インターンシップや ボランティア活動が授業科目に

2006年9月に開設した愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)が1周年を迎えました。2007年4月からは学生に対してインターンシップやボランティア活動に関する授業科目を提供できるようになりました。当初は学生の履修希望があるかどうか心配でしたが、私たちCCCスタッフの予想を上回る数の学生が希望してくれましたので安心しました。

CCCの構想は数年前にさかのぼります。その頃、大学と地域との連携という課題が全国で話題となりました。また、愛知淑徳大学の理念にも「地域に根ざし」という考えがあります。これを融合させて、学生の教育の場として提供できないかと考えたのが3年ほど前のことでした。まずは、構想委員会を設置して、話し合いを繰り返しました。その翌年の2005年には準備委員会となり、パイロット的な意味で授業としてのインターンシップ研修を行いました。学生に事前学習と事後学習を提供して、授業科目と

しての開講の可能性を探りました。その後スタッフも充実し、開設の運びとなりました。

●●●現場を体験して、 実際の問題に向き合う

CCCは全学の学生に対して、新しい学外教育のプログラムを提供する教育センターです。ここで提供する授業を通して、学生は教室の境界線を越えて、様々なコミュニティと接することで、新しい経験を得て、新しい視点を有するようになります。この経験を通して、社会を良くするという認識

を持つことで、地域社会への貢献のあり方について発見します。現場を体験して実際の問題に向き合うことができ、さらに社会で働くためのロールモデルを見つけることができます。社会とともに歩んでいく大学の役割をCCCは担っています。今後、学外での教育プログラムをより充実させていきたいと考えておりますので、皆様方から様々なご意見をお聞かせ願えればと期待しております。